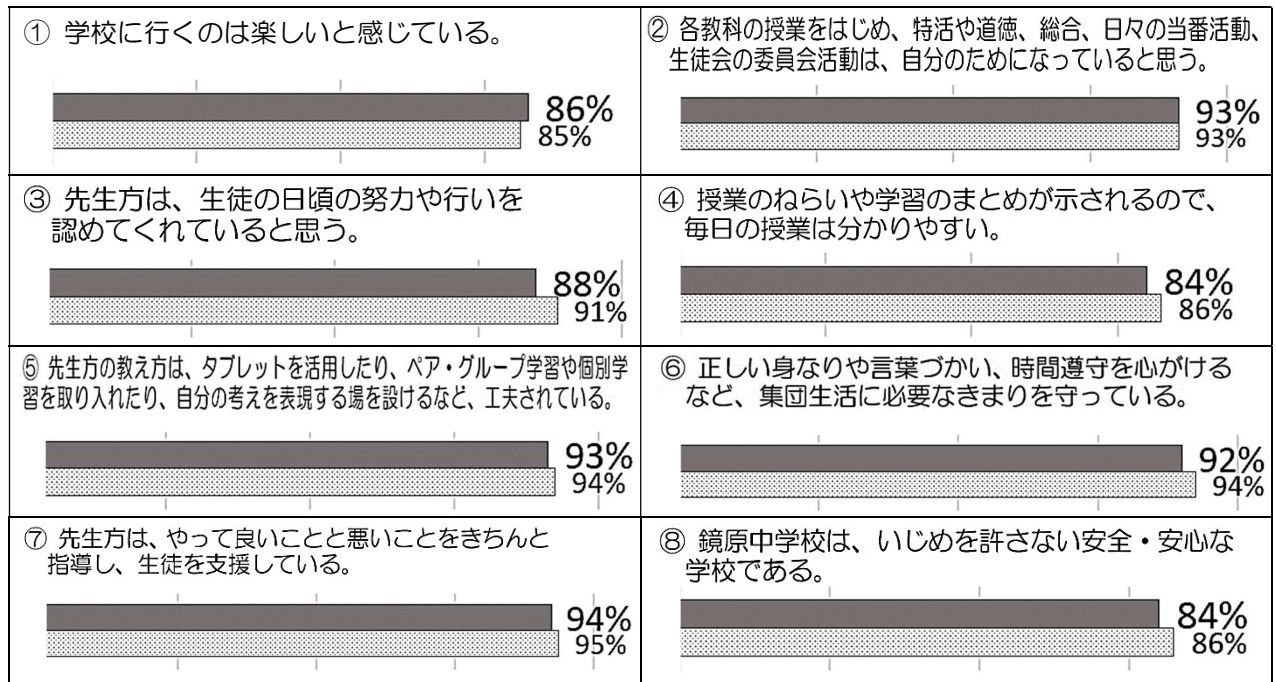


## 後期（11月）生徒・保護者からの学校評価アンケートの分析結果報告 R7.12

## (1) 生徒用アンケート：令和7年度の前期・後期の比較分析

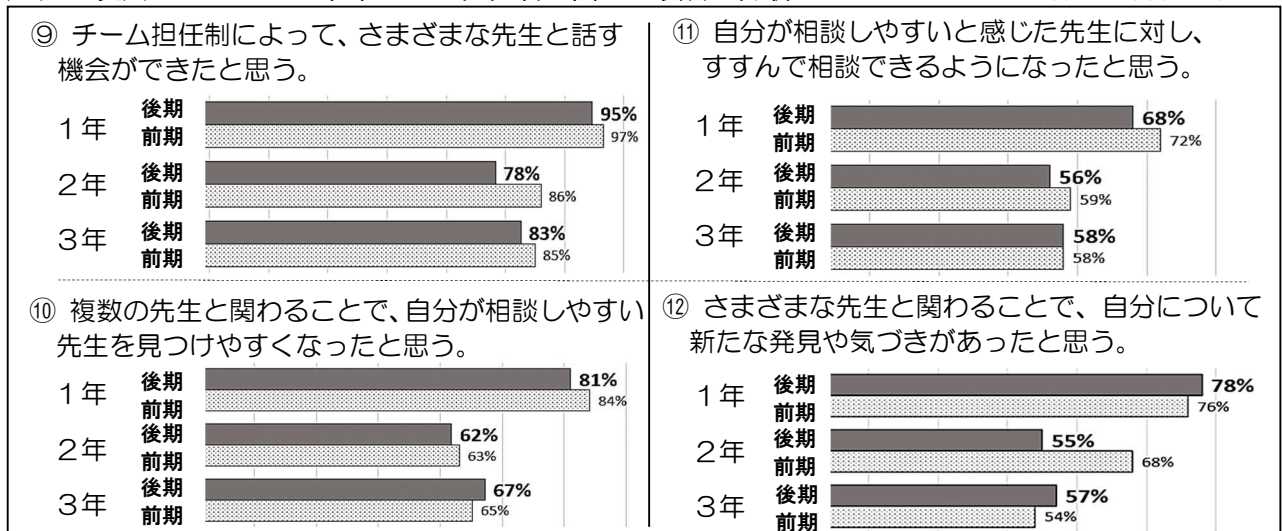
※「そう思う」「どちらかといえば そう思う」を合わせた肯定的評価の割合 ■後期 ■前期



【考察】前期からひきつづき、設問①・②・③・④・⑤において高い水準が維持されている。設問⑦・⑧からも、生徒の生活態度や教師の支援体制が安定していることが示されている。とくに設問⑧において、前期で令和6年度比18%も上昇（68%→86%）したのちに、同水準を維持できたことは評価できる。学年チーム担任制による情報共有の習慣化が、問題行動の早期発見・早期対応につながり、生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりに寄与していることが示されている。ただし、いじめを許さないという人権感覚をすべての生徒と共有するために、今後は90%、さらには100%を目指していきたい。次年度に向けては、学習面の質的向上とともに、安心して相談できる環境づくりをさらに強化したい。

## (2) 生徒用アンケート：学年チーム担任制に関する項目の分析

※ 肯定的評価の割合



【考察】設問⑨より、日常的に教員との多様な関わりが浸透しつつあることが確認できる。設問⑩・⑪・⑫より、おおむね6割程度の生徒が、固定担任との単線の関係性ではなく、チーム担任との複線の関係性を構築し、自己選択・自己決定の力を発揮しはじめている様子がうかがえる。一方で、学年が進むにつれて「相談しやすさ」や「自分に対する気づき」に関する肯定的回答が減少傾向にある。ひきつづき、主体的に学校生活を営む力の育成に向け、多面的な理解、多様な関わりを意識した関係構築に尽力するとともに、学年チーム担任制の効果について検証を重ねたい。次年度は、進路や将来への不安が重なる3年生に対し、安心して相談できる環境づくりのあり方を検討し、改善策を取り入れていきたい。

## (3) 保護者用アンケート：学校生活に関するおもな項目における分析

※ 回答別の割合

		そう思う				どちらかといえばそう思う		わからない	
		27%	53%	7%	11%	25%	58%	7%	12%
⑬ 学校は、学校目標である「自立し社会に貢献する生徒」の育成に努めていると思う	後期	27%	53%	7%	11%	25%	58%	7%	12%
	前期	25%	58%	7%	12%				
⑭ 学校は、安全・安心・快適に学習できる環境づくりに努めていると思う	後期	34%	56%	6%					
	前期	33%	54%	7%					
⑮ お子さんは、学校へ行くことが楽しいと言っている	後期	46%	40%	9%					
	前期	40%	42%	12%					
⑯ 学校は、保護者や生徒の悩み・相談事に適切に対応していると思う	後期	20%	49%	11%	17%				
	前期	18%	45%	12%	22%				
⑰ お子さんは、学年チーム担任制によって、様々な先生と話す機会ができたと言っている	後期	18%	30%	15%	18%	19%			
	前期	15%	38%	15%	13%	19%			
⑱ お子さんは、学級において、先生まかせではなく、自分たちで気づき考えて行動できるようになったと言っている	後期	12%	32%	16%	13%	27%			
	前期		33%	22%		31%			

【考察】回答数は199名。前期を上回る数の回答をいただくことができた。学校運営に関する保護者の関心の高さを示している。学校運営に関する設問⑬・⑭については、前期同様に肯定的評価が多く、学校目標や教育方針、また環境づくりに一定の信頼を寄せていただいていることが確認できた。今後もその信頼に応えるべく尽力したい。設問⑮「学校へ行くことが楽しい」では、肯定的評価が前期を上回り、86%と非常に高く、学校生活の充実が保護者の目からも認識されていると言える。一方で、設問⑯「悩み・相談事への対応」では否定的または判断不可の回答が3割ほどを占め、相談体制のわかりやすさや対応の丁寧さに改善の余地があることが示唆された。また、設問⑰「様々な先生と話す機会」については半数以上が否定的または判断不可であり、ひきつづき、保護者に対しては学年チーム担任制の目的の周知を、また生徒に対しては、相談は固定の学級担任にするものという意識ではなく、場面や内容に応じて相談相手は自分で選択するという意識になるよう、環境の醸成を図っていききたい。ただし、設問⑱「自分たちで気づき考えて行動」については、肯定的評価が前期37%→後期45%へと増加しており、学校目標の「自立」に沿った生徒の成長を保護者が実感する割合が増えたという点で、大いに評価できる成果だと言える。

## (4) 保護者用アンケート：「学校運営に関するご意見やご感想」（自由記述）の考察

【考察】自由記述の回答数は59名。いただいたご意見の多くは、学年チーム担任制に関するもの（20名）と、定期テスト廃止に関するもの（11名）だった。

学年チーム担任制については、「メリットを感じない」「先生と生徒の関係性が薄くなっている」「廃止にしてほしい」といったご意見をいただく一方で、「まだ導入間もないので評価できるほど意見や感想はない」や「新しいチャレンジに敬意を表したい」といったご意見が寄せられた。課題とその対応策を全職員で検討し、生徒が主体的に学びをすすめる場としての学校づくりに向け、改善を図っていく。

定期テスト廃止については、「学力の立ち位置が知りたい」「テストは受験慣れするために必要」「定期テストがなくなって学力低下が心配」などのご意見をいただいた。学力の位置を把握したいとの意見については、令和8年度より、5月（全学年対象）および10月（3年生対象）に「総合学力テスト」を実施し、結果は個票で保護者にお知らせする計画である。また今年度9月より、各教科において、単元テストの実施日や範囲などをスクリーンで発信しているの、保護者から、単元の学習において「何が理解できたか」「何につまずいているのか」という視点から継続的に励ましの声かけをお願いしたい。単元テストを実施する意義等の「学習評価の考え方」については本校HPにある説明動画を参照のこと。

その他に、「情報交換を密にしてもらい、学校とつながっている安心感がある」「保護者も一体となっていていい学校をつくりたい」など激励のお言葉も多くいただいた。ひきつづき気を引き締めて臨みたい。

## (5) むすびに

学校運営に関し、忌憚のないご意見を賜りましたこと深く感謝申し上げます。いただいた評価・ご意見をもとに、学校運営のさらなる充実に努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。